

共同調達物流サービスによる 製造業ロジスティクス高度化

HITACHI
Inspire the Next

製造業、関連サプライヤなどが集まる工場地帯や工業団地を中心に、複数のお客さまの部品調達・製品配送を一括して引受けて共同化
バイヤの調達計画とサプライヤの配送計画の統合分析・管理による調達物流の全体最適化を実現し、個別管理・個別調達により生じるムダを排除

お客さまの課題

- ・海外工場進出時の地域特性に応じたベストプラクティス採用によるコスト競争力を確保するために、スケールメリットを生かした物流コストの削減やノンコア業務のアウトソーシングによるコア業務への注力が課題

データ価値化の流れ

データ収集

- ・生産、調達系の計画、実績データ
- ・輸配送計画・実績、品質データ
- ・車両監視データ、交通情報

データ分析

- ①複数バイヤの発注オーダーと、サプライヤの納入計画を集計
- ②調達物流全体での配車計画/輸送ルートを最適化
- ③立案した輸配送計画をもとに、物流業者を割当て委託
- ④物流業者の業務は、輸送実績・車両モニタリングで管理

データ価値創出

- ・調達物流のローコストオペレーションの実現(調達物流コスト削減)
- ・共同配送による高頻度納入、調達リードタイムの短縮
- ・在庫削減によるキャッシュフロー改善
- ・輸送実績による物流業者の品質評価、輸送品質の改善

導入実績のある業種

- ・製造業